

【五月の言葉（令和五年）】

## 煩惱は「克服」するもの

ではありません。

煩惱を克服することなど私たちにはできません。

死ぬまで、たくさんの煩惱を抱えながら生きているのが私たちの姿です。その煩惱を捨て去ることなどできません。

念仏に遇うということは、煩惱に振り回されない生き方ができるということです。

「わが心、鬼と仏が同居して、ツノを出したり手を合わせたり」とあるように、念仏を喜んでいても縁次第でツノが出る私たちです。その時「またツノが出た。恥ずかしい。」と手が合わされてくる。

無くそうとしても、生きている限りすぐに出てくる煩惱。しっかりと向き合えば、煩惱に支配されず、煩惱に振り回されない生き方ができるのです。